

ラオス国「公共投資プログラム(PIP)の運営監視能力向上プロジェクト」プロジェクト概要表(PDM1)

プロジェクトタイトル:ラオス国「公共投資プログラム(PIP)の運営監視能力向上プロジェクト」  
プロジェクト期間:2004年11月-2007年10月(3年間)

ターゲットグループ:CPI-DGP/DIME、主要省庁(MOE、MPH、MOAF、MIH、MCTPC)計画課、県計画・協力課  
ターゲット地域: ヴィエンチャンおよびモニター県

バージョン: PDM 2  
日付: 2006年3月15日

プロジェクトの要約		指標	指標データの入手手段	外部条件
<b>&lt;上位目標&gt;</b> 公共投資プログラム(PIP)の効果と効率性が改善される。		1 各公共投資事業がPIPに従って実施されている。 2 第6次5ヵ年計画(2006-2010年)におけるラオス政府支出分PIPの貢献度合いを、同計画の評価レポートから見出す。具体的な指標項目は、第5次5ヵ年計画(2001-2005年)の評価結果、及び第6次5ヵ年計画の計画内容を見て設定する必要がある。(2005年10月)		・2020年目標及びNGPE5が国家の目標であり続ける。
<b>&lt;プロジェクト目標&gt;</b> ラオス政府主導の公共投資事業が適切に審査、モニタリング、評価される。		1 2006/07年度予算として国会に提出される全ての新規及び継続中の国内予算分大規模(Type 1)公共投資事業及び、本プロジェクトモニター対象県における中規模(Type 2)公共投資事業が、本プロジェクトにて作成したマニュアルに沿って手続きされている。 2 全ての国内予算分大規模公共投資事業及び、本プロジェクトモニター対象県における中規模公共投資事業において、インセプション・レポートおよびプログレス・レポートがマニュアルどおりに定期的かつ適切にCPIに提出されている。 3 マニュアルに従って適切な時期に事業審査し、次年度の公共投資プログラムに活用された公共投資事業の数がプロジェクト開始時より増加している。	1 プロジェクト作成チェックリスト、DGP/DPII資料 2 DGP/DIME資料 3 プロジェクト作成チェックリスト、DIME/DGP資料	・ラオス政府の公共投資事業予算額が極端に変動しない。 ・主要ドナーのプレゼンスが現状のレベルで続く。
<b>&lt;成果&gt;</b> 1. ラオスの公共投資事業に即した審査、モニタリング、評価方法が開発される。		1-1 本プロジェクトで実施する研修及びOJTを通じて「PIP運営監視マニュアル(プログラム・マニュアル)」「事業実施者のための事業監視ハンドブック」がラオス国の現状に即したものに改善され、対象関係機関全てに配布される。 1-2 本プロジェクトで実施する研修及びOJTを通じて「PIP個別プロジェクト運営監視マニュアル(プロジェクト・マニュアル)」がラオス国の現状に即したものに改善され、対象関係機関全てに配布される。 1-3 マニュアルに沿ったPIP年間運営監視スケジュールが確立される。	全 プロジェクトのマニュアル・ハンドブック配布先リスト	・公共投資事業に関する法令が変更されない。
2. 公共投資事業の監督機関職員が運営、審査、モニタリング、評価技術を習得する。		2-1 マニュアルに従って適切な時期に省庁や県の組織に対して、直接指導し、必要な情報を入力し、活用できるスタッフがDGP・DIMEで10人以上となる。 2-2 県や省庁の職員を対象とした、マニュアルの普及のための研修が開発され、CPを主体として実施している。 3-1 各モニター県・省庁が担当している公共投資事業の計画・審査、モニタリング、評価の各種レポートが、プロジェクト開始時に比べて改善している。 3-2 各モニター県・省庁を担当するDGP/DIME職員及び省庁・県の職員が、組織の業務形態に即した適切なレベルまで向上している。(キャパシティ・ビルディング・モデルに基づいて組織毎に測定。)	2-1 キャパシティ・ビルディング・モデルに基づいて組織毎に測定。 2-2 研修記録と研修評価レポート 3-1 各モニター県、モニター省庁のメタ評価報告書(プロジェクトのモニタリング記録とDGP/DIMEの資料活用) 3-2 各職員のパフォーマンス・チャート	
3. 新たに確立された手法に基づき、モニター県(カムムアン県、ウドムサイ県、サラヴァン県)及びモニター省庁(農林省)において適切に公共投資事業が運営監視される。		4-1 PIPの審査、モニタリング、評価に関する機関、省庁及び県政府の公共投資事業責任者に対するセミナーを通じて、PIP運営体制やそれぞれ関係機関の役割分担が整理、理解される。 4-2 各モニター県・省庁からの教訓を反映した、公共投資事業の運営体制が、マニュアルに反映される。	4-1 セミナー報告 4-2 プロジェクト最終版マニュアル	
4. 公共投資事業の審査、モニタリング、評価を実施する運営体制の人的ネットワークが整備される。				
<b>&lt;活動&gt;</b>		<b>投 入</b>		
1-1 現存するPIPガイドライン、マニュアル、関係機関と関係者の分析。	2-1 研修の実施システムとカリキュラムに関する調査と分析。	3-1 モニター県、モニター省庁の選定。	<日本>	<ラオス国>
1-1' PIP年間スケジュールに沿ったプログラム・プロジェクトのフロー検証。	2-1' PIP年間スケジュールに沿ったプログラム・プロジェクトのフロー検証。	3-2 モニター県、モニター省庁の運営監視能力の調査分析。	<b>専門家派遣 2(日本人) / 1(ラオス人)名</b>	<b>カウンターパート</b>
1-2 「PIP運営監視マニュアル(プログラム・マニュアル)」の開発。	2-2 研修カリキュラム・教材の開発。	3-3 モニター県、モニター省庁担当のDPIP・DIME職員に対するOJTの実施。	・チーフアドバイザー ・研修開発運営監視 ・プロジェクト監理 (ローカル専門家・ラオス人)	・プロジェクトディレクター:1名 Dr. Lian THYKEO (Vice President of CPI)
1-3 1-2の印刷と関係機関への配布。	2-3 技術審査が実施できる関係機関の把握・協力可能性の調査。	3-4 モニター県、モニター省庁の職員に対するOJTの実施。 1.農林省でのOJT。 2.ウドムサイ県でのOJT。 3.カムムアン県でのOJT。 4.サラヴァン県でのOJT。	<b>専門家派遣 6名</b>	・プロジェクトマネージャー:2名 Dr. Souphan (Director General of DGP) Mr. Vixay (Director General of DIME)
1-4 「PIP個別プロジェクト運営監視マニュアル(プロジェクト・マニュアル)」の開発。	2-4 PIPプログラム、プロジェクトのフローに合わせた研修・ワークショップ・調査の実施。 1. ビエンチャン(省庁職員対象) 2. .カムムアン県 3. ウドムサイ県 4. サラヴァン県	3-5 モニター県、モニター省庁で実施された公共投資事業の審査評価レポートに対するメタ評価の実施。	・経済・財務分析 ・社会分析 ・環境分析 ・統計分析 ・ガイドライン整備/メタ評価 ・研修システム、カリキュラム、教材開発	・プロジェクトメンバー9名
1-5 1-4の印刷と関係機関への配布。			<b>その他人員</b>	
1-6 「事業実施者のための公共投資事業ハンドブック」の開発。	2-5 研修・ワークショップ・調査の効果測定。	3-6 3-1-5を踏まえ、マニュアル、ハンドブック類や研修内容を改善する	ローカルコンサルタント (ラオス人) 秘書兼庶務担当スタッフ (ラオス人) 通訳・ラオス語校正 (ラオス人) ドライバー (ラオス人)	
1-7 1-6の印刷と関係機関への配布。			<b>研修員受入</b>	<b>施設</b>
			長期本邦研修 (年間1名) 短期第三国研修 (年間2名)	プロジェクトオフィス ミーティング・教材開発室 研修室
			<b>供与機材</b>	<b>ローカルコスト</b>
			パソコン 研修資機材・視聴覚機材 車庫 事務所備品・機材 等	職員給与 オフィスの光熱費 その他
				前提条件
				・モニター県政府が本プロジェクトについて受け入れる体制にある。 ・モニター県で他のドナーの活動と重複していない。